

佐藤政養の墓（青山霊園）

遊佐町出身の佐藤政養は、幼少のころから中国等の学問に熱心に打ち込み、33歳の夏に江戸に出て、勝海舟のもとで西洋流の砲術等を熱心に学びました。

そうした中、当時の幕府が神奈川に新しい港を造ろうとした際には、自らの学問を活かし、横浜がもっと適当だと意見をいい横浜港の生みの親となりました。

また、文明開化のためには海外との貿易や鉄道が必要であると主張し、明治5年5月7日、新橋から横浜間に日本で初めて列車で走らせることに成功しました。その距離25km、歩いて1日、馬車でも半日かかる距離を僅か53分で走らせることができました。

こうした功績を称え、遊佐町では、毎年10月14日に「政養祭(せいようさい)」を開催しています。

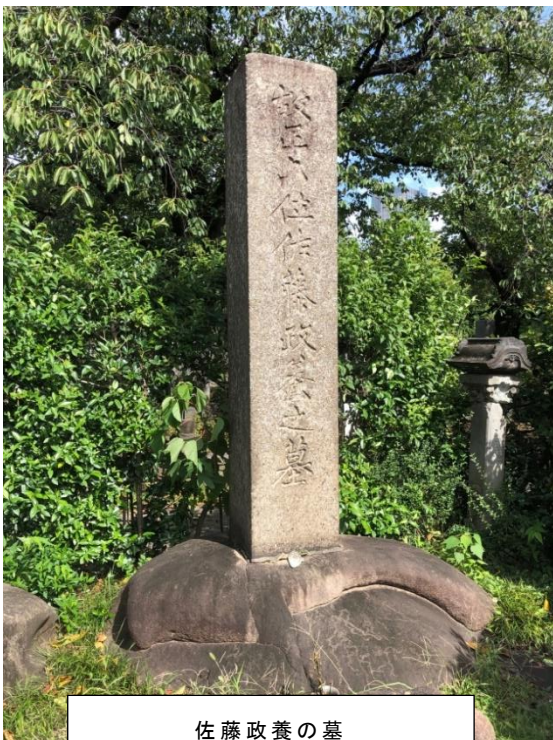
◆青山霊園 港区南青山2-32-2 ([公式HP](#))

東京メトロ

銀座線「外苑前駅」4a出口から徒歩7分

千代田線「乃木坂駅」出口5から徒歩10分

半蔵門線、銀座線、都営大江戸線「青山一丁目駅」出口5から徒歩9分



佐藤政養の墓



当時、勝海舟から佐藤に送られた石灯籠